

兵卒ノ徳義
全

特39

891

051650-000-6

特39-891

兵卒ノ徳義

陸軍教導団

M27

BFB-0441

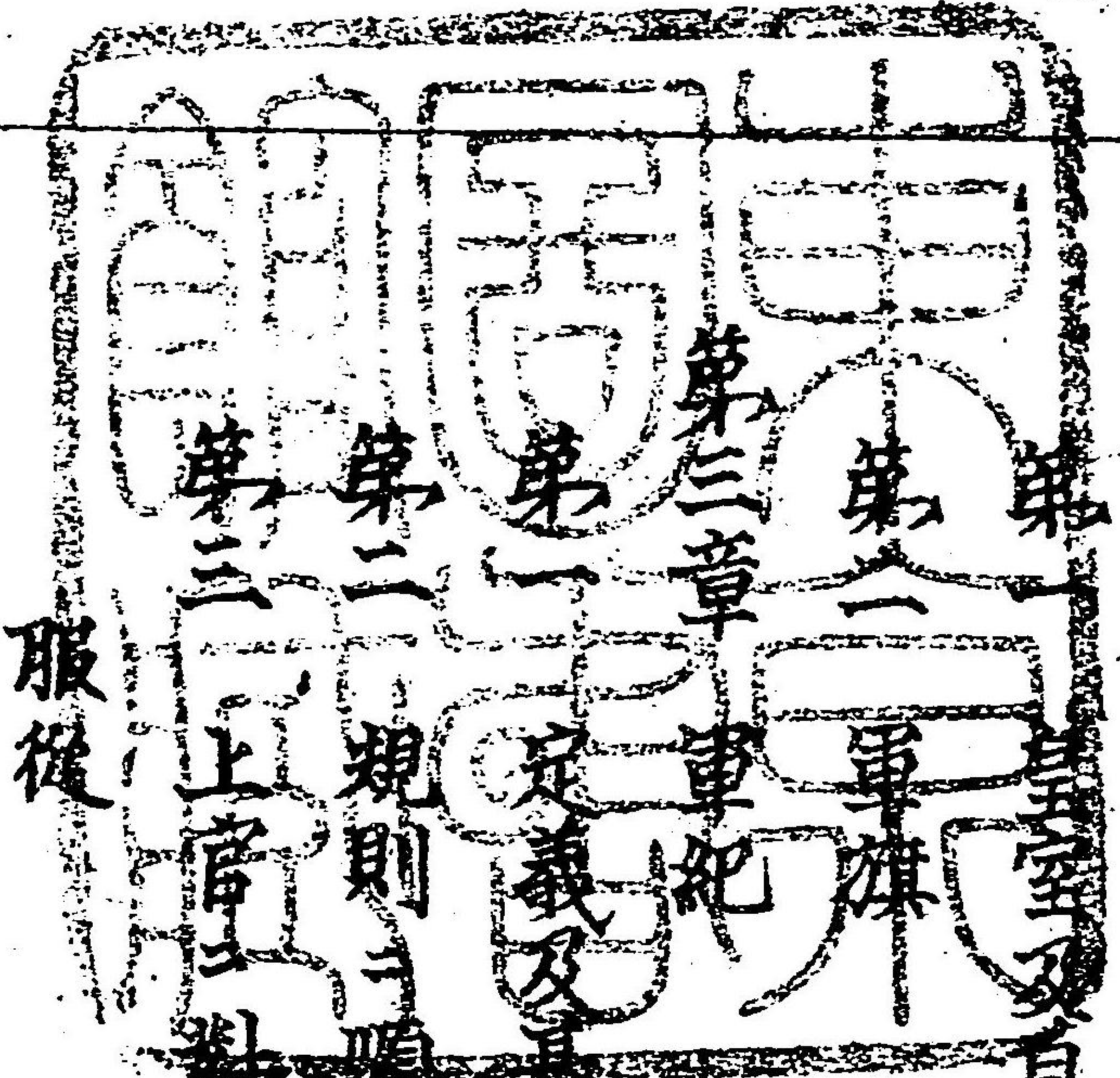


特39
891

兵卒ノ徳義目次

第一章 任務

第二章 忠君愛國



第三章 軍紀

第一章 軍旗

第二章 軍服

第三章 軍禮

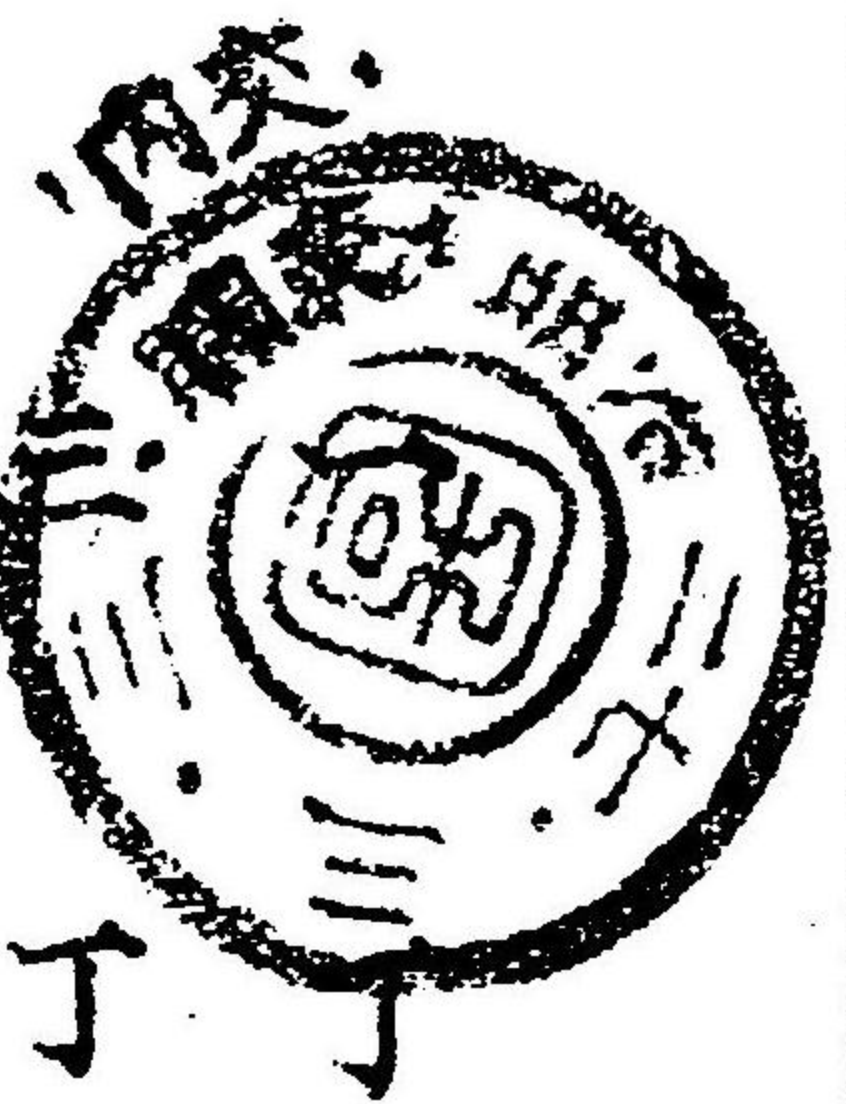
第四章 規則ニ順從スル

第五章 上官ニ對スル兵卒ノ任務

服從

其一 上官ニ對スル服從

其二 尊敬



同

四

五

同

六

七

同

同

十

丁

丁

丁

丁

丁

丁

兵卒ノ徳義目次

其三 謙讓

十二丁

隊長ニ對スル推重信任愛慕

十五丁

其一 推重

同

其二 信任

同

其三 愛慕

十七丁

第四 兵卒自己ニ對スル任務

同

其一 順序容儀清潔

十八丁

其二 品行節度抑情

二十丁

其三 健康勉勵自殺ノ禁止

二十二丁

第五 他ノ軍人及人民ニ對スル兵卒ノ任務

二十三丁

其一 他ノ軍人ニ對スル兵卒ノ任務

同

其二 人民ト兵卒トノ關係

二十六丁

第四章 名譽

二十六丁

第一 軍事名譽

同

第二 廉潔及誠實

二十九丁

第五章 忠厚及克己

三十一丁

第六章 勇敢

三十二丁

第一 勇敢果敢沈毅

同

第二 慈愛

三十三丁

第三 感激

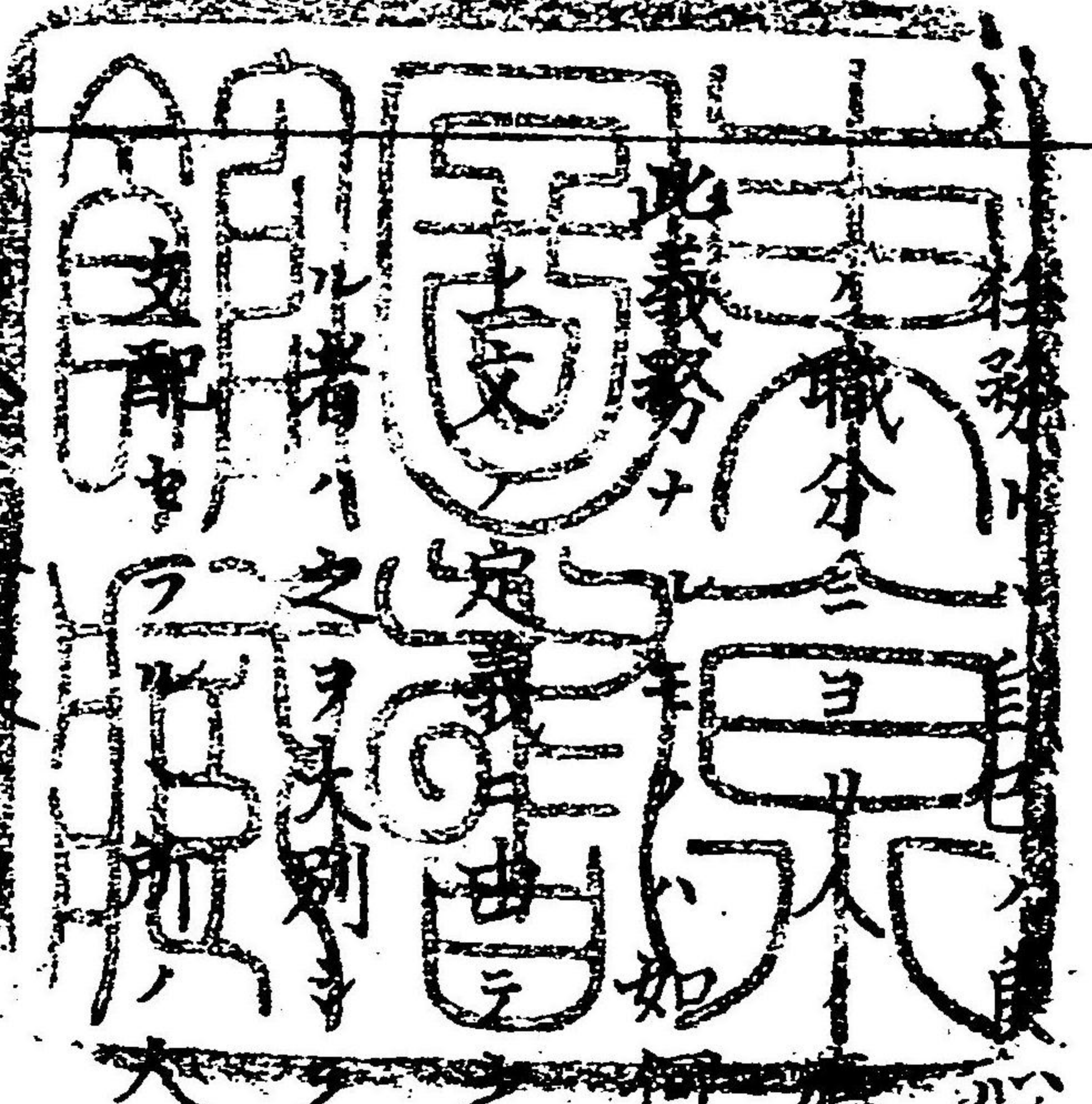
三十四丁

兵卒ノ德義目次終

兵卒ノ徳義

第一章 任務

任務トハ何ソ



心ニヨリ制度規則ニヨリ道義倫理ニヨリ及自己
ニ擔當スヘキ諸般ノ義務ヨリ成立スル者ナリ
如何ニ區別セラル、ヤ

之ヲ觀レハ任務ヲシテ成立セシムル所ノ義務ナ
ラニト為ストヲ得ヘシ即チ一ハ同一制度ノ下ニ
大民ニ通シテ盡ヌ可キ者一ハ特ニ職分上ヨリ盡

人民普通ノ任務トハ何ソ

人民普通ノ任務トハ即誠實ニシテ能ク勞動シ自國ノ制度規則ハ之

ヲ敬シ之ニ服スルノミナラス自他道義ヲ維持スル為メ必要ナル義務ヲ盡スルヲ云フ

兵卒ノ特別任務ハ如何ニ區別セラル、ヤ

兵卒ノ特別任務モ亦別テニトナスルヲ得ヘシ一ハ職分上ノ任務一ハ道義上ノ任務是ナリ

兵卒職分上ノ任務トハ如何ナル者ヲ謂フヤ

兵卒職分上ノ任務ハ即チ常ニ能ク勤務ヲ勉メ技藝ニ達シ運動ニ熟シ及軍務上諸般ノ規則ヲ了解シテ之ヲ應用スルノ責任ナリ語ヲ換ヘテ之ヲ言ハハ其教授セラレタル所ノ學科術科ヲ知得シ之ヲ躬行スルノ謂ナリ

兵卒道義上ノ任務トハ何ツ

兵卒道義上ノ任務トハ特ニ其良心ニ照シ道理ニ基キ及自然ノ感情

ヨリ發生スル所ノ義務ニシテ即忠君愛國軍紀名譽忠厚勇敢其他之ヨリ生スル各種ノ義務是ナリ此任務中最重要ナル者ハ忠君愛國ノ至情ヨリ出ル者是ナリ苟モ忠君愛國ノ至情ヲ以テ重シトスル中ハ他ノ任務ヲ盡スノ心ヲ涵養シ且之ヲ全フセントスルニ於テ毫モ痛苦ヲ感セサルヘシ然リ而シテ普通人民ニ在リテハ此ノ如キ任務ヲ盡スルヲ以テ至徳ハ稱ス可キ者ナレモ軍隊即兵卒タル者ニ在テハ當然ノ任務タリ

兵卒道義上ノ任務ハ其職分上任務ノ如ク軍事規則ヲ以テ教授セラル可キヤ

軍事規則ハ唯簡單ニ軍人タル者ノ應ニ負擔スヘキ規則上ノ任務ヲ知得セシムルニ過キスシテ以下説ク所ノ道義上ノ任務ハ相渉ラサルナリ故ニ有階者及良兵卒タル者ハ懇懃ニ其僚友ヲ誘導シ或ハ之

レニ勸告シ或ハ之カ標準トナリ以テ其智徳ヲ發達セシメサル可ラ
ス

良兵卒トハ何ソ

良兵卒トハ平時ト雖モ猶戰時ニ於ケルカ如何ナル場合ニ遭遇
スルモ確乎トシテ任務ヲ盡シ或ハ盡シ得ヘキヲ準備スル者ナリ
之ヲ略言スレハ任務ノ人ト云フヘキ者ナリ

軍隊中ニ在テ兵卒ノ模範トナルヘキ所謂任務ノ人アルヤ

凡任務ノ人タルニハ須ラク克己忠厚節義ノ三徳ヲ要ス此三徳ヲ以
テ自ラ任シ又能ク之ヲ實行スル者乃チ是任務ノ人ト云フテ可ナリ
此美德ヲ具スル者軍隊中尤多カルヘキハ是自然ノ數ナリ何ントナ
レハ軍人タル者常ニ忠君愛國ヲ以テ己ノ分ト為シ一般人民ニ比シ
テ更ニ一層ノ重任アレハナリ

兵卒タル者ハ須ラク任務ノ人ノ行為ヲ學ヒ亦其行為ニ倣ハンコトヲ
勉ムヘシ

我國ノ傳記ハ先人ノ偉業ヲ録載ス就中軍事上感嘆ス可キ者欣賞ス
可キ者類例甚多シ軍人タル者はニ依テ又其行為ヲ學ハ、得ル所益
淺少ナラサル可シ

第二章 忠君愛國

第一 皇室及自國

忠君愛國トハ何ソ

忠君愛國トハ皇室ノ為メ忠節ヲ勵ミ自國ノ為メニ心カヲ致スヲ謂
フ

忠君愛國ヲ以テ自ラ任スル者ハ己レヲ空フシ唯君アルヲ知テ身ア
ルヲ知ラス國アルヲ知テ家アルヲ知ラサルノ志操莫カル可ラス

故ニ忠君愛國ヲ以テ任スル者ハ一旦事アルノ時ニ當リテハ挺身
起至親恩愛ノ繫繩ヲ絶チ其性命財産ヲ供シテ顧ミサル可キナリ此
ノ如ク志操ヲ有スルハ兵卒タル者ノ任務ナリ是レ兵卒ハ法律上皇
威ヲ發揮シ國權ヲ維持スルヲ以テ本務トスルモノナレハナリ
皇室ニ對シ且ツ自國ト云フ事ニ付テ如何ナル思想ヲ有スヘキヤ
吾人ハ

天皇陛下ノ臣民ナリ吾人ノ自國ハ日本ナリ抑日本帝國ハ開闢以來
萬世一系ノ

皇室ヲ戴キ嘗テ外國ノ侵略ヲ受ケタルトナキ世界ニ於テ最モ光輝
アル金甌無缺ノ邦國ナリ故ニ吾人ノ任務ハ帝ニ現在ノ日本帝國ヲ
保護スルノミナラス尚未來ノ日本帝國ニ向テ盡ス所無カル可ラス
抑吾人モ吾人ノ眷屬モ又其時代ナル者モ皆遂ニ消滅シテ其痕跡ヲ

留ムルコトナシト雖モ獨リ

皇室ト我自國トハ否ス未來永久存在スル者ナルカ故ニ國民殊ニ兵
卒カ我

皇室ノ為メ及自國ノ為ニ留メシ卑怯若ハ勇敢ナル行為ハ其耻辱ト
其名譽トヲ負フテ萬世消滅スルコトナカルヘシ

由是觀之兵卒ハ其皇威ト國光トヲ表彰スル者ナリ故ニ兵卒タル者
已レカ委任セラレタル任務ノ重キ夫レ斯ノ如クナルヲ知ラハ須ラ
ク忠厚ト節義トヲ以テ其肝膽ニ銘刻ス可シ

如何ニシテ忠君愛國ノ情ヲ兵卒ニ感發セシムヘキヤ又如何シテ之レ
ヲ表彰スルヲ得ヘキヤ

忠君愛國ノ情ヲ兵卒ニ感發セシムルニハ平時ト雖モ隱然敵國アル
ヲ知ラシム可シ其敵國ニ向テ懷抱スル所ノ敵愾ノ心ハ即チ愛國ノ

心ナルヘシ

又忠君愛國ノ情ハ氣節ヲ重シシ己レニ克チ及忠厚勇敢ノ行為ヲナシ以テ之ヲ表彰スルヲ得ヘシ

即チ平時戰時ノ別ナク兵卒カ能ク艱苦ニ耐ヘ欠乏ヲ忍フノミナラス更ニ之ヲ以テ愉快トナシ其軍隊ノ為メ心志ヲ勞シ肢体ヲ役スルノ精神ハ實ニ忠君愛國ノ情ヨリ出ツルニアラスヤ

又兵卒カ己レノ自由ヲ捨テ己レノ嗜欲ヲ空フシ最嚴重ナル軍紀ニ服従スル所ノ者ハ忠君愛國ノ為メ獎勵セラル、ノ余ニ出ツルニ非スシテ何ツヤ

又兵卒カ飛彈閃劍ノ間ニ進退シ其生命ヲ顧ミサル處ノ者ハ即チ忠君愛國ノ心アルニアラスシテ何ツヤ

第二 軍旗

軍旗トハ如何ナル者ヲ謂フヤ

軍旗トハ

天皇陛下親カラ聯隊ニ授ケ賜フ所ノ神聖ナル旭日旗章ナリ軍人タル者之レヲ奉シテ皇威ヲ振ヒ國光ヲ耀シ以テ衆人ノ欽仰ヲ受ル者ナリ故ニ其聯隊中ニ擁持セラル、ヤ一般軍人之ヲ尊崇シ其忠實ト勇敢トヲ以テ奉護セサル可ラス

第三章 軍紀

第一 定義及基礎

軍紀トハ如何ナル者ヲ謂フヤ

軍紀トハ恰モ鎖條ヲ以テ糾合セラレタル集合体ノ如キモノ、由テ以テ運動スヘキ行為ノ規則ヲ言フ故ニ軍隊ニ軍紀アルハ猶一家ニ家法アリ宗門ニ宗旨アルト同一ナリ

軍紀ハ如何ナル者ヨリ成立スルヤ

軍紀ナル者ハ首トシテ軍隊ノ員ニ加ハル者ノ負擔スヘキ義務ヨリ成立スル者ナリ而シテ其義務ナル者ハ即チ軍事規則ニ順從シ且ツ上官ノ命令ニ服從スヘキヲ謂フナリ

軍紀ナル者ハ軍事上諸般ノ形勢ニ在テ順從及服從ノミヲ以テ足レリトスルヤ

軍紀ナル者ハ平常ノ場合ニ於テ順從及服從ヲ督促シ若シ之ヲ犯ス者アラハ嚴重ニ懲戒スル中ハ充分堅固ナルカ如クニ見ユ然レモ如此軍紀ハ寧ロ懲戒ヨリ生スル者ニシテ惟容色作用ノ間ニ止マリ軍事上無涯ノ狂瀾ニ抵抗スルヲ能ハサル可シ

軍紀ヲシテ戰場ニ於ケル危難欠乏及擾亂ノ中ニ在テ確乎トシテ動クヲナク井然トシテ亂ル、ヲナカラシムルニハ兵卒ノ胸裡ニ其根

元ヲ植立セシメサル可カラズ即チ下級者ノ上級者ニ對シテ表示スル所ノ尊敬信用愛慕ノ感覺ヲ有セシムヘシ

軍紀ナル者ハ法律規則ニ順從シ及上官ニ對スル服從義務ノ外尚他ニ負擔セシムヘキ者アルヤ

軍紀ハ尚ホ左ノ義務ヲ負擔セシム

兵卒自己ニ對スル任務同僚ニ對スル任務下級者ニ對スル任務及ヒ人民ニ對スル任務是ナリ

第二 規則ニ順從スル

軍職ニアル者如何ニシテ規則ニ順從スト謂フヘキヤ

軍職ニアル者ハ先ツ普通人民ト同シク其國法律ニ順從シ尚又軍事規則ニ順從スヘキ者ナリ

故ニ良兵卒タル者ハ已レノ遵奉スヘキ法律規則ヲ了解シ且嚴重ニ

之レヲ履行セサルヘカラス

軍事法律ノ中日本人民カ第一ニ順從スヘキ者ハ如何ナル者ナルヤ
人民タル者軍役ヲ帶フルノ義務ハ此ノ法律中尤首要ナル者ナリ我
カ政府ハ國權ヲ維持シ國民ヲ保護スル為メ夙ニ徵兵令ヲ發シ凡ソ
人推テ有シ軀幹備具國家ノ干城ト為スニ堪ユル日本國民ニハ十二
年間國家ヲ保護スルノ責任ヲ負ハシム

又此貴重ナル職務ヲ盡スニ適當ナラシムル為メ三年間現役ニ服シ
武器ヲ執リテ軍旗ノ下ニ立タシム

故ニ兵卒タル者聯隊ニ在テ起臥スル間ハ身心共ニ軍事教育ニ從フ
ヘキハ固ヨリ其任務ナリ若シ軍役ヲ苛酷ノ収斂ト為シ之レヲ忌避
セント企ツル如キ者アラハ實ニ此名譽アル國家ノ干城タルノ重任
ヲ辱カシメ軍服ヲ戴被セシムヘキ價直アラサル者ナリ

軍役ニ服スル人ハ如何シテ軍事上ノ規則ヲ知得スヘキヤ

軍役ニ服スル兵卒タル者各其任務ヨリ生スル所ノ義務ハ各隊ニ於
テ學科及術科ニ就キ教授セラレヘキ者トス

兵卒現役ヲ終リ家郷ニ歸ルノ後服膺スヘキ規則モ亦軍旗ノ下ニ起
臥スルノ間ニ於テ教授セラレヘキ者ナリ

然レモ兵卒道德上ノ義務ニ至テハ法律規則ヲ以テ詳示スル能ハス
斯ノ如キハ軍隊中ニ於テ昔時ヨリ遺傳セル口碑ニヨリテ之レヲ學
ブヘシ

第三 上官ニ對スル兵卒ノ任務

服從

服從トハ如何ナル意義乎

服從トハ下タル者上タル者ニ對シ當然盡クスヘキ軍事任務ナリ即

此任務ハ服從尊敬及謙讓ヨリ成ル者ナリ

各級軍人ノ間ニ於ケル服從ハ如何

各級服從ハ每級ノ間ニ生スル者ニシテ最嚴肅ナラサル可ラス又同級ナルモ新故ノ別ニヨリ服從アリ等シク一等卒ト雖モ新參ハ故參ニ服從セサル可ラス故ニ同級者相合スル中ハ故參ノ者其柄ヲ取ル又職任ニヨリ其柄ヲ取ルアリ

其一 上官ニ對スル服從

兵卒上官ニ對シ如何ナル服從ヲ要スルカ

兵卒ノ服從ハ迅速且敬虔ナラサル可カラス語ヲ易ヘテ言フモハ即チ一タヒ與ハラレタル命令ハ假令如何ナル事情アルモ躊躇セズ眞實ニ之レヲ履行セサル可ラス

與ハラレタル命令ヲ重スルハ軍紀ノ基礎ニシテ兵卒ノ心裏ニ感染

セシムヘキ緊要ナル感覺ナリ故ニ上官タル者ハ常ニ已レカ與ヘタル命令ノ實行ヲ監視シ必ス之ヲ中途ニ廢止セシムル如キヲアル可ラス抑命令ナル者ハ誠意以テ服行セサル可ラサルモノニシテ若シ時々其命令ノ服行ヲ促カサルヲ得サルカ如キハ即チ下ハ軍紀ナク上ハ命令ノ効力ナキヲ證スル者ニシテ畢竟司令權ヲ汚辱スル者ト云フヘシ

勤務ノ實行トハ如何

勤務ノ實行トハ指命ノ時期即チ必要ノ時ニ於テ已ノ為スヘキ業務ヲ確實ニ施行スルヲ謂フナリ

兵卒ノ為メ實行ナル者ハ服從ノ如ク必要ナル者ニシテ畢竟實行ハ服從ヨリ生スルモノニ他ナラサルナリ

命令官ノ階級ニ從ヒ服從ニ緩嚴アル可キヤ

階級ニ依テ緩嚴ノ區別ヲナス可カラス上官ニハ其階級ヲ論セス眞實ニ服従ヲ為ス可シ故ニ兵卒タル者ハ分隊長ニ服従スルモ聯隊長ニ服従スルモ同一ナラサル可ラス

兵卒ハ受ケタル命令ノ旨趣ニ就キ尋問スルヲ得ヘキヤ

特別ノ場合ニ在テハ尋問スルヲ得ヘシ然レモ尋問ヲ為スニハ毫モ抵抗ノ意ナク謹シテ之ヲ為ス可シ

例令ハ兵卒カ受ケタル命令ノ旨趣未タ充分ニ了解スル能ハサルハ其上官ニ就テ簡單ニ之レカ説明ヲ請フヲ得ヘシ

若シ其命令中實行スル能ハスト考フル事件アリテ上官之ヲ覺知セス已レ先ツ之ヲ知得シタルカ如キ場合ニ於テハ簡單ナル言語ヲ用テ謹シテ之ヲ陳述シ以テ其事情ヲ明白ナラシムルヲ得ヘシ然レモ上官尚ホ之ヲ強ル中ハ又之ニ抗抵スルヲ得サルヘシ

命令ノ旨趣曾テ違セラレタル規則ニ矛盾シ或ハ其人ノ推外ニ涉ル者ト思考スル中ハ其上官ニ對シテ意見ヲ陳述スルヲ得ルヤ

如此場合ニ於テ上官ニ對シテ意見ヲ陳述スルハ軍紀ニ違背スルノ行為トナルヘシ何ントナレハ軍事規則ニ於テ命令ノ可否ハ其命令ヲ附與スル者ノ責任ニシテ其命令ヲ受ケタル者ハ一旦服従セシ后ニアラサレハ意見ヲ陳述スルヲ許サレハナリ

兵卒タル者續テ反對シタル二個ノ命令ヲ受領シ同時ニ執行スル能ハサル中ハ如何シテ可ナルヤ

如此時ハ謹テ第二ノ命令ヲ與ヘタル上官ニ對シ簡單ナル言語ヲ用ヒ已ニ受領シ居ル所ノ第一ノ命令ヲ申告ス可シ若シ該上官必ス其命令ヲ施行スヘシト命スル中ハ直ニ之レヲ實行ス可シ此時ニ於テハ假令第二ノ命令者第一ノ命令者ヨリ下級ナルモ尚第二ノ命令者

ニ服從セサル可カラス何トナレハ上官ノ面前ニ於テ其命令ヲ拒ム
ル能ハサレハナリ

兵卒若シ反對シタル二個ノ命令ヲ受ケ第二ノ命令者其命令ヲ行フ可
キヲ命スルキハ第一ノ命令ヲ措テ第二ノ命令ヲ行フヲ法トス然ル
キハ第一ノ命令者已レテ命令ノ行ハレサルヲ以テ兵卒ニ其事由ヲ詰
問スルヲ得ヘキヤ

簡單ニ其事由ヲ尋問ス可シ設令第一命令者第二命令者ノ為メニ命
令ノ施行ヲ阻碍セラルト雖モ他ノ命令者ニ對シテハ毫モ之ヲ譏
傷スルノ言行ヲ為ス可カラス若シ之レヲ慎マサルキハ已レ自ラ譏
傷ヲ招クニ至ル可キナリ

何故ニ命令ハ之ヲ評議スルル能ハサルヤ
命令ノ合規不合規或ハ適不適ヲ評議スルノ權利ヲ受命者ニ許スキ

ハ軍隊ノ秩序為メニ紊亂シ一撥嘯党ト何ソ異ナラン抑軍隊ノ威力
強盛ナル者ハ各人カヲ合セ心ヲ同フシテ互ニ相團結シ緊要ノ時機
ニ際シテ其心カヲ同一ノ目的ニ湊合シ其湊合力ヲ隊長ノ手裏ニ把
握セシムルニアルヲ以テナリ

若シ命令ヲ横議セシメハ軍紀乃チ廢滅スヘシ夫レ軍紀廢スレハ軍
ハ即チ烏合ノ兵ナリ烏合ノ兵ハ豈ニ能ク百練ノ精兵ニ當ル可ケン
ヤ

服從ノ中ニモ畏服スル者ト心服スル者トアルヘシ其差違如何
畏服トハ規則ノ範圍ニ拘束セラレ唯命之ニ從フ者ヲ謂フ
心服トハ中心悦テ毫モ依違スルヲナク百事其上官ニ從フヲ云フ
故ニ平常上官ノ命令ニ服從シ得ヘキ準備アル兵卒ニシテ罰ヲ恐レ
或ハ賞ヲ得ントノ心ヨリ外其旨ニ從ヒ内實ニ満足セサル如キ皮想

ノ服従ニアラサル者ヲ心服ノ兵卒トハ云フナリ

畏服ノ兵卒ト心服ノ兵卒ト何レヲ撰フヘキヤ

心服ノ兵卒ヲ撰フ可キナリ何ントナレハ心服ノ兵卒ハ縦令瀕死ノ

場合ニ臨ムト雖モ能ク其命令ニ従フ可シ畏服ノ兵卒ハ然ラス唯懲

戒ノ嚴ナルヲ恐レ其命ニ従フ者ナレハ上ノ如キ危難ニ遭遇スルモ

ハ必軍紀ヲ紊リ服従ノ義務ヲ缺クニ至ルヘケレハナリ

心服ノ兵卒ヲ養成スルノ法如何

兵卒ヲシテ其任務ヲ重シ隊長ニ對スル尊敬推重信任及愛慕ノ念ヲ

喚發セシムルニアリ

其二 尊敬

兵卒ノ上官ヲ尊敬スルハ如何ナル場合ナルヤ

兵卒タル者ハ已レカ屬スル兵種及部隊ノ如何ヲ問ハス凡テ上官ハ

尊敬セサル可カラス又已レ勤務外ニアルモ其上官ノ目前ニアラサルモ決シテ尊敬ヲ欠ク可カラサル者ナリ

若シ上官任務ニ背キテ其品行ハ端正ナラス其容儀ハ整肅ナラサル時

ト雖モ兵卒ハ尚是ヲ尊敬セサル可カラサルカ

然リ尊敬セサル可カラス何ントナレハ兵卒ノ心中縦令之ヲ尊敬ス

ルヲ欲セサルモ軍事ノ任務ニ於テ其長官タル者ノ有スル位階ニ對

シ之ヲ尊敬スルヲ命シ敢テ違背スルヲ赦サレハナリ

兵卒上官ニ對シ尊敬ヲ表スルニハ如何ニシテ可ナルヤ

兵卒上官ニ對シ尊敬ヲ表スルニハ左ノ三要領ニ従フ可シ

其一 陸軍禮式ニ定メラレタル外形上ノ敬容ヲ表スル

其二 對話スルモ最鄭重ナル言語ヲ用ユヘキ

其三 決シテ誹謗スルヲナク又之ニ渉ルモハ意ヲ用ヒテ避クヘキ

尊敬ハ服従ノ如ク階級ヲ論セス上官ニ對シテ一樣ナル可キヤ

否服従ハ階級ヲ論セス一樣ナレモ尊敬ハ階級ヲ追フテ次第ニ嚴肅

ナラサル可カラス故ニ兵卒敬禮ヲ行フニモ將校ニ對スルト下士ニ

對スルトノ間ニ於テ差アリトス然レモ尊敬ハ階級ノ降ルニ從ヒ之

ヲ行フモ行ハサルモ可ナリト云フニアラス故ニ兵卒若シ分隊長ニ

對シテ尊敬ヲ失スル中ハ已レカ任務ニ欠クル所アルヲ以テ忽チ處

罰セララルヘシ

尊敬ヲ外表スルニハ如何シテ可ナルヤ又何故ニ之ヲ要スルカ

尊敬ヲ致ス所ノ外容ハ其上官ニ對シ敬禮談話及ヒ拳動ヨリ自然ニ

顯ハル、所ノ者ナリ

又兵卒ヲシテ最嚴重ニ之ヲ履行セシムル所以ノ者ハ殊ニ服従ノ感

覺ヲ生セシメンカ為メナリ

敬禮ハ如何ナル方法ニヨリテ行フ可キヤ

敬禮ハ陸軍禮式ニ由リ行フ者ニシテ急遽ニ過キス緩慢ニ失セス能

ク節度ニ適合スルヲ要ス

敬禮ヲ行フニハ明白ニ被禮者ニ注目シ決シテ其身体ヲ俯仰セシム

ルヲナク軍人ノ姿勢ヲ正スヘシ若シ禮節當ヲ得サルカ如キアラハ

是其人ヲ侮辱スルノ嫌ナキ能ハス

上官若シ答禮セサル中ハ如何ス可キヤ將々如何ニ思考シテ可ナルヤ

兵卒ハ規則ニ依據シ敬禮ヲ完了ス可シ假令上官ノ答禮ナキモ毫モ

不滿ノ色ヲ顯ハス可ラス

上官ハ多數ノ敬禮ヲ受クルカ為メニ時トシテ答禮ヲ欠クノ場合ナ

キニアラス然レモ上官ハ決シテ兵卒ヲ蔑如スルノ精神ニアラサル

ナリ

兵卒若シ此レヲ是レ察セス上官ノ失誤ヲ憤ル者アラハ其精神ノ善
良ナラサルヲ証スルニ足ル可キ者ナリ

軍隊ニ在ツテ上官ニ對スル尊敬ヲ教育スルノ方法如何
之レヲ教育スルノ最良法ハ模範ヲ示シ先例ヲ興フルニアリ而シテ
其模範ヲ示シ先例ヲ興フルハ獨リ有階者ノ責任ノミナラス新兵ノ
為メニハ故參兵卒モ亦其責任ヲ負フ者トス

其三 謙讓

兵卒ノ上官ニ對スルハ唯尊敬ノ一事ヲ以テ足レリトスル乎
否獨リ尊敬ノミヲ以テ足レリトセス更ニ一ノ要訣アリ何ソヤ即謙
讓是ナリ抑謙讓ナル者ハ其人及其位階ニ對スル尊敬ノ中ニ自ラ和
氣ノ藹然タルヲ表スル者ナリ

上官ニ對スル謙讓ナル者ハ留意シテ其上官ヲ優待シ恭敬スルヨリ

生スル者ニシテ元來軍事ノ規則ヲ以テ預メ示ス能ハスト雖モ兵卒
ノ任務ヲ完フスル為メニハ甚必要的ノ者ナリ是等ハ普通教育或ハ
軍事ノ教育ヲ受ケ如何ニシテ之レヲ行フヘキヤヲ知ル所ノ兵卒ニ
在テハ即其任務タルニ外ナラサルナリ

凡テ兵卒ノ上官ニ對スル謙讓ハ皆一樣ナルヲ得ヘキヤ

規則ニ依リ制定セラレタル外形禮式ノ如キハ兵卒タル者皆之ヲ能
スト雖モ所謂謙讓ニ至テハ否ス僅ニ禮節ヲ了解シタル兵卒ヨリモ
善良ナル教育ヲ受ケタル兵卒ニ向テ多ク之ヲ請求スルヲ得ヘシ

兵卒ハ如何シテ上官ニ對スル謙讓ノ要領ヲ學フヘキヤ

兵卒ハ我カ良心ノ勸告ハ特ニ有階者及良兵卒ノ行狀トニヨリ得タ
ル處ノ例ニ照シ自ラ之ヲ學フヘシ

兵卒上官ニ對スル謙讓ニハ卑屈ノ性質ヲ有セサルカ

否上官ニ對スル真ノ謙讓ハ善良ナル教育ノ反射ナリ故ニ謙讓ナル者ハ已ノ用友ニ對シ已ノ隊長ニ對シ及已レノ良心ニ對シテ却テ已ヲ高尚ナラシムル者ナリ

然レモ其謙讓ハ實ニ上官ヲ尊敬スルノ表情ニ出テス徒ニ上官ノ愛顧ヲ買ハシカ為メ其謙讓ヲ假粧スルトキハ是レ謙讓ノ範圍ヲ脱シテ已ニ卑屈ニ陥ル者ナリ兵卒タル者深ク茲ニ注意セサル可ラス謙讓ト卑屈ト異ナル處如何請フ二三ノ例ヲ擧ケテ其詳ヲ聞カン

第一例 將校アリ演習場ニ於テ休憩時間下馬セシキ會馬丁ノワラサルヲ以テ手ツカラ其轡ヲ取レリ軍曹アリ之ヲ傍觀シ直チニ伶俐ナル兵卒一名ヲ遣リテ其馬ヲ着視セシメタリ如此ハ軍曹及兵卒共ニ其上官ニ對シ謙讓ノ意ヲ表セリト謂フ可シ若シ此場合ニ際シ傍ニ兵卒アルモ軍曹之レヲ措キ已レ親ラ其轡ヲ取テ着視スルカ如キ

トアレハ是レ乃チ卑屈ノ行為ト稱シテ可ナリ

第二例 軍曹ト兵卒トノ間ニ於テ某事物ニ就キ一ノ疑問ヲ生シ互ニ其說ヲ異ニシテ談論セリ此時ニ當リ兵卒姿勢ヲ正フシ極メテ鄭重ナル言語ヲ用ヒ敢テ自說ニ拘執セヌ又敢テ抵抗シテ下士其人ノ威權ヲ損スルコトナキハ即チ上官ニ對スル謙讓ニ於テ欠クル所ナシ之ニ反シテ兵卒若シ已レノ所說道理ニ合スルアルモ殊更ニ其論者ニ曲從シ却テ諛言ヲ呈スルカ如キハ是レ謙讓ニアラスシテ卑屈ノ行為ト謂フ可キナリ

第三例 兵卒狹路隘巷ノ如キ或ハ停車場ノ小窓ヨリ切符ヲ購買スル中ノ如キ最混雜ノ場所ニ於テ上官直ニ已レカ後方ニアレハ之レニ地歩ヲ讓リ其場所ヲ與フル如キハ是レ即謙讓ナリ

第四例 數多ノ兵卒相合シテ或ハ笑ヒ或ハ戯レテ公園内ヲ道遙ス

ルヲアラシ此時一將校アリテ其近傍ヲ過クルヲアラハ兵卒即直立
シテ姿勢ヲ正シ其敬禮ヲ表スルナル可シ而シテ將校尚未タ其目前
ヲ去ラサル間ハ兵卒肅然トシテ歩行スヘシ此ノ如キ行為ハ軍人外
ノ者ヨリ見ルルキハ或ハ卑屈ニ類スルカ如シト雖モ軍人ニ在テハ決
シテ然ラス之レ謙讓ノ美德ニシテ禮法ニ於テ應ニ然スヘキ任務ナ
リトス

兵卒上官ニ對スル中ハ其階級ヲ論セス同一ノ謙讓ヲ要ス可キヤ
兵卒上官ニ對スル謙讓ハ必要ナレモ尊敬ニ於ケル如ク其階級ニ應
ジテ以テ緩嚴ノ差別ナケル可ラス故ニ兵卒ノ分隊長ニ對スル謙讓ハ
中隊長ニ對スル謙讓ハ同一ナル者ニアラス若シ其差別ナクシテ上
下一様ナルキハ却テ卑屈或ハ嘲弄ニ類スルヲアル者ナリ今左ニ一
例ヲ舉ケンニ將校アリ將サニ兵舎内ニ入ラントスルニ當リ其軍服

ニ塵土汚着セシカ為メ兵卒ニ命シテ羅紗刷毛ヲ持テ來ラシム兵卒
即チ刷毛ヲ持テ來リ親ラ上官ノ服ヲ拭ヒ其塵土ヲ除去セリ此ノ如
キハ謙讓ノ意ヲ表スル者ナレモ此ト同一ノ事ヲ以テ分隊長ニ對ス
ルキハ已ニ謙讓ノ制限ヲ超ヘタル者ナリ又兵卒任務ヲ命セラレ之
ヲ復命スルニ當リ「下忍報告仕候」ト云フカ如キ中隊長ニ對シテ言フ
時ハ謙讓ト云フ可キモ分隊長ニ對シテ用フルキハ却テ失笑ス可キ
トニシテ寧ロ嘲弄ノ行為ニ當ル可シ

隊長ニ對スル推重信任愛慕

第一 推重

隊長ヲ推重ストハ何ソヤ
隊長ヲ推重ストハ其隊長ノ失行ヲ無視シテ其体力智力徳力ノ性能
ノミヲ信認スルヲ謂フ

第二 信任

兵卒タル者其隊長ヲ信任スルヲ必要トスル乎

兵卒ノ其隊長ヲ信任スルハ甚必要ナル者ニシテ戰場ニ在テハ殊ニ然リトス若シ隊長ノ信任缺乏スルキハ其隊ノ人員ハ夥多ナルモ其兵卒ハ精強ナルモ遂ニ敗亡ヲ免レサル可シ何ントナレハ其成功ヲ疑ヒ棄ス可キノ好機會ニ際スルモ躊躇シテ其命ニ從ハサルニ至レハナリ夫レ此ノ如クシテ戰場ニ勝ヲ制スル者未タ曾テ有ラサルナリ

故ニ隊長ノ人物如何ヲ問ハス兵卒タル者は是レニ對シテ無限ノ信任ヲ致スヲ要ス即チ已レカ直隸スル隊長ニ對シテハ其勇敢ニ於テモ信任シ其經驗ニ於テモ信任シ其教示ニ於テモ信任ス可シ又其作戰ヲ計畫スル將官ニ對シテハ其學識ニ於テモ信任シ其才幹ニ於テモ

信任セサル可ラス

從來ノ經驗ニ徴スルニ隊長ノ計畫シタル事物及處置セシ事跡未タ必スシモ皆完全ナル者ニ非ラス然レモ兵卒ノ熱心ト協力トヲ以テ之レヲ實行スルキハ成功ノ機會ヲ得ルノ亦尠トセス而シテ此理ヲ証明スル敢テ難キニアラス觀ヨ隊長ヲ信任スル軍隊ト信任セサル軍隊トヲ比較シテ之ヲ觀ルヘシ然ルキハ忽其利害得失ヲ判断スルノヲ得ン

隊長ヲ信任スル兵卒トハ如何ナル者ヲ云フヤ

是レ已レカ隊長ヲ推重スルノ兵卒ナリ如此兵卒ハ能ク軍紀ヲ奉スル嚴ニシテ亦能ク已レカ朋友ノ信任ヲ得己モ亦自ラ信スル所ノ者ナリ

隊長ヲ信任セサル兵卒トハ如何ナル者ヲ

紀律ナキ勇氣ナキ兵卒即是ナリ

例之ハ命令ヲ受ケテ之ヲ實施スルヲカメス却テ之ヲ討議シ之レヲ
誹謗スルカ如キ僻習アル者之ヲ隊長ヲ信任セサルノ兵卒ト謂フ夫
レ隊長ヲ信セサル兵卒ハ自身ノ本分ヲ忘レ傷フ者ナルノミナラス
施テ其朋友ヲモ賊フ者ナリ此ノ如キ兵卒ハ常ニ軍事上ニ於テ應ニ
遭遇スヘキ困難ト欠乏トニ堪ユルヲ能ハスシテ徒ニ其隊長ノ欠失
ノミヲ非難シ幾ント叛逆ト同一ナル性質ヲ有スル者ナリ如此兵卒
ノ軍隊ニ在ルハ乃チ其軍隊ノ耻辱ナリ又國家ノ破壊者ナリ

兵卒ヲシテ隊長ヲ信任セシムルノ方法如何シテ可ナルヤ
此目的ヲ達スルニハ已ニ陳述セシ如ク兵卒ノ胸裡ニ上官ニ對スル
尊敬推重ノ感覺ヲ發達セシムルニアリ

隊長タル者躬親ラ其模範ヲ示シ且己レカ責任ニ對シテ負フ所ノ義

務ヲ完フスル中ハ部下ノ信任ヲ得ルヲ蓋シ甚容易ナラン

第三 愛慕

毫モ缺失ナキ軍紀ノ兵卒トナランニハ其隊長ニ服從シ且之ヲ尊敬シ
信任スルノミヲ以テ足レリトスルカ

兵卒已ニ服從尊敬信任ノ三徳ヲ具ヘテ以テ之ヲ躬行スル中ハ堅牢
犯ス可ラサル者アリ然レモ尚是レニ加フルニ兵卒ノ胸懷ヲ纏綿ス
ル處ノ愛慕ノ情ヲ以テスル中ハ更ニ一層堅牢ナルヲ得ヘキナリ
兵卒規則ニ基キ能ク其任務ヲ盡スルハ兵卒ノ本分ニ於テ已ニ充全
ナリ然ルニ尚愛國ノ衷情ヨリ其隊長ヲ愛慕スルノ心ヲ發シ以テ軍
事ニ服スル中ハ其軍隊ハ必ス精練至強ノ名聲ヲ博スヘシ
奈破翁第一世カ每戰勝ヲ奏シ數回ノ功利ヲ収ムル者固ヨリ其才幹
ノ卓越ナルニ因ルト雖モ抑亦其部下軍隊ノ信任ト愛慕トニヨルニ

非ラスンハ安クシツ能ク斯ノ如クナルヲ得ンヤ

兵卒ノ隊長ニ對シテ愛慕ノ情ヲ表スルハ如何シテ可ナルヤ

隊長ニ對シテ愛慕ノ情ヲ表スルハ唯熱心ニ軍事ノ任務ヲ盡スニア
リ然レモ中心實ニ其隊長ヲ愛慕スル者ハ未タ是レヲ以テ足レリト
セス尚其危險ニ際シテハ隊長ノ為メ已レカ生命ヲ捨ルニ躊躇スル
ヲ無カル可シ

古今各國ノ歷史上ニ此嘉スヘキ事跡ハ屢見ル所ナリ如斯ハ其愛慕
ノ感情ヲ生セシメタル者此愛慕ニヨリテ殉難致死セシ者共ニ其名
譽ヲ同フスヘキナリ

兵卒自己ニ對スル任務

軍紀ハ兵卒ニ負ハシムル自己ニ對スル任務ヲ以テスト其任務トハ
何ソ

凡ソ人類ハ自ラ其身ヲ尊重シ且保護スルヲ自然ノ原則トス軍紀ハ
即此原則ヲ遵守セシムル一層嚴密ナリ若此原則ニ違背スルハ
忽之ヲ譴責ス故ニ兵卒ハ此原則ニ基キタル軍紀ニ遵ヒ自己ニ對ス
ル任務ヲ負フ一左ノ如シ「順序容儀清潔」品行節度抑情及健康勉勵自
殺ノ禁止是ナリ

第一 順序容儀清潔

順序トハ何ソ

夫レ事ニ輕重前後アリ時機ニ緩急アリ其輕重前後緩急ヲ審ニシ以
テ進退ノ宜キヲ得ル是此ヲ順序アリト謂フナリ

此ノ如キ性質ハ兵卒ノ為メ必要ナル者ナルヤ

順序ナル者ハ平時戰時ニ論ナク兵卒ニ於テ最必要の者ナリ

佛將馬耳門曰ク順序ヲ贊美スルハ軍隊ヲ成立セシムルニ必要ナル

一基礎ナリ若シ此順序ナケレハ即チ軍隊ノ結合鞏固ナラスシテ其企圖ヲ遂クル能ハス其要務ヲ飽カシムル能ハスト
平素内務ノ瑣事ニ於ケルカ如ク戦時紛擾ノ場合ニ際スルモ均シク軍紀ニ適従スルハ是レ順序アルノ兵卒ナリ即順序ヲ重ニスルノ兵卒ハ其容儀ヲ整正シ身体ヲ清潔ニシ勤務ヲ實行シ品行ヲ高尚ナラシム可シ蓋シ順序アル兵卒トハ兵卒ノ為メニ最モ之ヲ頌讚シタルノ謂ヒナリ

兵卒ニ順序ノ精心ヲ發育セシムルノ方法如何

總テ規則ニ關スル者ハ瑣細ノ件ト雖モ精密ニ之ヲ解得シ嚴正ニ之ヲ實行シ又命令及号令ヲ奉シテ自ラ活動スルヲ習ハシメ然ル后運用間ニアルモ戰闘間ニ在ルモ常ニ注意シテ隊長ノ一撃手一号音ニ應シ自在ニ進退シ且ツ集散スルヲ得セシムルニアリ

右ノ如ク習練シタル兵卒ヲ以テ組成スル軍隊ハ戰場ニ於ケルモ順序整然犯ス可ラサル者アル可シ此習慣アリ乃チ軍事ノ成功ヲ期ス可キナリ

兵卒ハ如何ナル方法ニ依リテ順序アル精神ヲ外形ニ顯ハスヲ得ルヤ

多クハ容儀ノ端正ナルト身体及物品ノ掃拭清潔ナルトニ依リテ顯ル是レ良兵卒タル者ノ常ニ保ツ所ノ習慣ナリ抑順序アルノ兵卒ハ毫モ犯ス可カラサルノ容儀ヲ保ツ更ニ之ヲ一言スレハ風采着裝美ナルヘシ進退動作高尚ナル可シ即自己ノ威嚴ヲ損シ他人ノ忌厭ヲ生スル如キ賤言ヲ吐キ謠曲ヲ唱フヲナキヲ要スルナリ

良兵卒タル者其容儀ニ注意スルハ唯順序ノ精神アルニヨリテノミ然ルヤ

良兵卒其容儀ニ注意スルハ唯順序ノ精神アル為メニ然ルノミナラ
 ス蓋シ已レノ軍人タルヲ顧ミ其軍服ニ對シ自ラ敬愛シ又他人ニ愛
 敬セラレシテ欲スレハナリ故ニ兵卒若シ已レト同一ノ軍服ヲ着
 用セシ他ノ軍人ノ毫モ其軍服ノ愛敬スヘキヲ知ラス着裝其法ニ適
 セサル者ヲ見以テ反省スルハ即自ラ悟ル所アル可シ
 兵卒外形ノ容儀ニ注意スルハ其任務充分ナリト謂フテ可ナルヤ
 設令服装宜ニ適ヒ室内ノ装置整フト雖モ是レ僅カニ其外觀ニ留マ
 リ實ハ序次錯雜シ且身体不潔ニシテ汚穢ナル襦袢ヲ着シ或ハ其汚
 穢ナル襦袢靴足袋ノ類ヲ敷布ノ間ニ挟ミ長靴ノ中ニ入レ或ハ泥靴
 フ其儘寢臺ノ下ニ匿スカ如キアラハ即容儀ノ正シカラサルノミ
 ナラス心術モ亦狡猾怠惰ニシテ一時隊長ヲ瞞着セントスル者ナリ
 如此兵卒ハ一旦非常ノ時機ニ際スルハ更ニ其用ニ堪ヘサル者ナ

リ

清潔ハ唯容儀ノ端壯ヨリ之レヲ必要トナスヤ

清潔ハ自己ノ容儀ヲ整フニ必要ナルノミナラス尚又身体ヲ貴重シ
 健康ヲ保持スル為メノ最良方法ナルヲ以テ軍隊ニ在テハ殊ニ缺ク
 可カラサル者トス何ントナレハ軍隊ハ多人數集合スル故ニ不潔ハ
 病毒ヲ傳染スルノ甚容易ナレハナリ
 佛將馬耳門曰兵卒ニシテ其衣服ノ汚穢ナル者モ其容儀端正ナルモ
 ノモ共ニ是レ戰鬥スルヲ得ルハ固ヨリ疑ヲ容レサル所ナリ然レモ
 日常ノ任務ヲ盡スニ專ナラサル者ハ隊長ノ号令ニ服従スルモ亦隨
 テ至ラサル所アルヘシト

第二 品行節度抑情

兵卒軍旗ノ下ニ起臥スル時ニ於テ如何ナル品行ヲ要スルヤ

良兵卒ハ一身ニ関スル細瑣ノ行為ト雖モ尚軍事行為ノ如ク他人ノ
龜鑑トナルヘキヲ要ス

夫レ兵卒タル者一旦軍隊ニ入ルノ後ハ熱心軍事ノ義務ヲ盡シ能ク
困苦ニ堪ヘ欠乏ヲ忍ヒ危難ヲ避ケサルヘシ然レモ是軍人ノ常事未
タ之ヲ以テ足レリトセサルナリ平日勤勞ノ余暇ト雖モ品行方正ナ
ルヲ要ス即善ニ興シ惡ヲ避ケ高尚ナル歡樂ヲ嘉ミシ猥褻ナル言行
ヲ慎シム可シ要スルニ体カヲ損シ徳義ヲ毀ル所ノ者ハ一切之レヲ
排斥スルニアリ故ニ品行方正ナル良兵卒タラン者ハ尚節度抑情ノ
二要則ヲ守ラサル可ラス

節度トハ何ソ

節度トハ重ニ飲食物ニ就テ奢侈ナラサル至當ノ習慣ヲ謂フ
此習慣ハ兵卒ノ為メ必要ナルヤ

軍職ニ在ル者平日此習慣ヲ養成スルハ最緊要ノ務ニ屬ス否ラサレ
ハ戰時屢際會スル處ノ困苦欠乏ニ堪ヘサラントス又之ヲ以テ勢ト
スル中ハ官ヨリ受クル處ノ者モ之ヲ節度シ以テ能ク國家ノ資源ヲ
枯衰セシメサルヘシ兵卒已レノ日給ノ外金圓ヲ所持セサルモハ自
ラ質素ノ風ヲ裝フ者ナレハ之ニ向テ節度ノ要ヲ解クハ無益ナルカ
如シト雖モ若シ余分ノ金錢ヲ所有シ之レヲ以テ一身ノ快樂ヲ買フ
カ如キ者アル乎然ルモハ獨リ自己ノ利益ヲラサルノミナラス終始
苦樂ヲ共ニスヘキ處ノ兵卒ニ對シ情義ニ背クモノアリ故ニ苟クモ
軍隊ニ在ル者ハ其飯盆ヲ以テ満足ス可キヲ了解ス可シ若シ否ラ
スシテ平素屯營ニ在テ美味美食ニ飽クモハ戰陣中應ニ遭遇ス可キ
飢渴ト困苦トヲ甘受スルヲ能ハサル可シ

抑情トハ如何ナル者ソ又軍隊ニ抑情ノ必要ナルハ何故ナルヤ

抑情トハ人各自然ノ分限ヲ超過セサルノ謂ニシテ殊ニ飲食遊戯娛樂ノ事ニ於テ適當ノ制限ヲ立テ其分限ヲ慎ムヲ云フ蓋シ簡單ナル定義ニヨルモ抑情ノ必要ヲ了解スルニ充分ナルヘシ

兵卒果シテ節度ノ緊要ヲ覺ルカ同時ニ放飲暴食ノ害毒ヲ感ス可シ抑放飲暴食ハ其体軀ノ衰弱ヲ來タシ其徳義ヲ損傷シ竟ニ兵卒ノ任務ヲ忘却シ或ハ其任務ヲ取ル能ハサルニ至ラシム可キナリ

逸樂ニ耽ケルノ兵卒ハ優柔不断無用ノ人トナリ國家ノ任務ニ適セサルニ至ル可シ

逸樂亦徳義ヲ傷リ品行ヲ紊ル事アクトスルハ徒ニ一時ノ快樂ヲ貪リ百年ノ幸福ヲ捨ツ即チ健康ヲ害シ病毒ヲ醸シ終ニ生涯不具ノ身トナリ婦ヲ娶リ子ヲ育シ以テ一家團樂ノ快樂ヲ享受スルヲ能ハサルニ至ル可シ

然ラハ則兵卒タル者深ク抑情ニ注意シ飲食ヲ制限シ賭博ヲ禁シ逸樂ヲ戒メサル可カラス是レ兵卒一身ノ得失ニ就テノミ論スルニ非ラス軍人ニ在テハ當然ノ任務ニ非スヤ

第三 健康勉勵自殺ノ禁止

兵卒ハ已レノ健康ヲ保持スルヲ以テ其義務トナス可キヤ人間誰レカ健康ノ保持ニ注意セスシテ可ナランヤ而シテ兵卒ニ在テハ殊ニ然リトス是兵卒ノ健康ハ即只其一身ノ為メニ必要ナルノミナラス國家事アルノ日ニ當ツテハ幾多ノ困難ニ堪ヘ一身ヲ擧テ犧牲ニ供ス可キ重大ナル任務アレハナリ

兵卒自ラ其身体ヲ毀傷シ以テ軍事ノ勤務ヲ免カレ兵役ヲ避ケンヲ企ツルカ如キ者ハ固ヨリ國家ノ罪人タリ重ク罰セサル可カラス又之レト同一ノ目的ヲ以テ自ラ健康ヲ害シ或ハ自ラ衛生ヲ怠ルカ

如キモ亦同一ノ罪人ト謂フヘシ
前ニ掲ケシ如ク節度及抑情ハ健康ヲ保全スルニ於テ最必要ノ者ナ
レハ宜シク之ニ注意セサル可カラス

軍人衛生規則ノ外兵卒ノ健康ヲシテ戰時ノ勞役艱苦ニ堪ヘシムル最
良法ハ如何

之レ他ナシ兵卒ヲシテ其勤務ヲ力行セシムルニアリ即困難ナル野
外演習及長途行軍ヲ以テ其筋骨ヲ鍛練シ恰モ戰場ニ於ケルカ如ク
山野ニ露卧シテ風雨霜雪ヲ冒シ以テ漸次ニ其元氣ヲ養成スルニア
リ
佛將馬耳門曰ク勉勵ハ兵卒ニ於テ第二ノ天性トナスヲ要ス故ニ兵
卒若シ懶惰ナル中ハ之ニ命スルニ劇務ヲ以テシ各種ノ科業ニ就カ
シム可シ蓋シ休業閑暇ハ其筋力ヲ減殺シ勇氣ヲ消耗ス彼ヲ活潑ナ

ル精神ト健康ナル軀體トハ常ニ勉勵ヨリ生スル者ナリ

兵卒既ニ戰場ニ於テハ國家ノ為メ其生命ヲ捨ツルノ任務アリ然ラハ
則チ其生存ヲ屑シトセサル場合ニ於テハ自ラ死生ヲ決スルノ權利ア
リト云フテ可ナルヤ

兵卒其健康ニ注意シ身體ノ強壯ナランコトヲ企圖スル者其國家ノ為
メ其任務ヲ盡スニ適當ナランコトヲ欲スルノ意ニ出ツ故ニ自ラ其生
命ヲ害スルノ權利ヲ有セス是其死所ヲ撰フノ權ハ已ニ屬セスシテ
國家ニ屬スレハナリ

第五 他ノ軍人及人民ニ對スル兵卒ノ任務

他ノ軍人ニ對スル兵卒ノ任務トハ何ソ
兵卒タル者他ノ軍人ニ對シ軍人相互ノ親愛及友愛ノ情ヲ盡ス可キ
ヲ云フ

軍人相互ノ親愛及友愛トハ何ソヤ

親愛トハ昆弟ノ愛ヲ云ヒ友愛トハ朋友ノ愛ヲ云フ

抑親愛トハ相依リ相扶ケ以テ事ニ従フ所ノ軍人ヲシテ昆弟ノ道義ヲ抱持シ送ニ相親和セシムル所ノ繫繩ナリ

軍隊ニ在テハ殊ニ此繫繩ヲシテ強固ナラシムル者ナリ何ントナレハ元此繫繩ナル者ハ風俗習慣ヲ同フシ困苦欠乏ヲ共ニシ及其名譽耻辱ヲ分擔スル者ニ在テ益濃厚ナル者ナレハナリ

是ニ由テ之ヲ觀レハ親愛ナル者ハ兵種ノ異同ヲ問ハス階級ノ高下ヲ論セス其間ニ生ス可シ散テ一伍一什ノ間ニ制限セラル可キ者ニアラサルナリ即チ戰時ニ在テハ各兵相合シ上下カヲ共ニシテ相急難スルノ必要アレハナリ

友愛ナル者ハ殊ニ同階級タル軍人ノ間ニ生スル所ノ交情ヲ云ナリ

親愛及友愛ナル者ハ其區域ノ狭少ナルニ隨テ交情益濃密ナル者ナリ例ヘハ歩兵ノ砲兵ニ於ケル中隊ノ聯隊ニ於ケルカ如シ兵科同シキ者兵數少ナル者ハ其異ナル者多キ者ニ比シテ更ニ一層親密ナル可キナリ

兵卒ハ如何シテ軍人相互ノ親愛及友愛ヲ能クシ得ヘキヤ

兵卒タル者ハ同聯隊ノ人ヲ認メテ昆弟ノ義アリトセハ送ヒニ相愛シ相敬シ相扶ケ相信シ以テ死生存亡ヲ與ニセサル可カラス

抑同兵種タル者及其僚友ナル者ニ對シテ生スル所ノ愛情ナル者ハ即勞苦ヲ共ニシ危難ヲ同フスル所ノ感情ナリ

兵種ノ異同ヲ問ハス階級ノ如何ヲ論セス送ニ相扶接シ以テ共ニ其ニ勤勞スル所ノ義務ハ人類自然ノ法則ノ然ラシムル所ナリ蓋シ軍隊ノ威力強勢ナル者衆心一致相信頼スルノ鞏固ナルニ因ルナリ

故ニ上官ノ下士兵卒ニ於ケル下士兵卒ノ生兵ニ於ケルモ亦各其任
務ヲ盡サシカ為メ或ハ先例故實ヲ示シ或ハ注意勸告シ以テ懇切ニ
其至ラサル者ヲ補助ス可キナリ然レモ推謀術數ヲ以テ一時是レヲ
籠絡スルカ如キハ宜シク避ク可キナリ是軍人相互ノ友愛ヲ妨害ス
ルヲ大ナレハナリ我國軍隊ニ在テハ此方法ヲ用ユルヲ聞カサルハ
幸ト云フ可シ故ニ士卒モ亦常ニ其上官ヲ補助シ熱心ト服従トヲ以
テ其命令ヲ實行ス可シ

凡テ軍人タル者階級ノ如何ヲ問ハス兵種及軍隊ノ異同ヲ論セス迭
ヒニ犠牲トナルノ覺悟ナカル可カラス此感情アリ然ル后始メテ真
ノ親愛及友愛ヲ完フスルヲ得ヘシ軍事家族ノ繫繩即軍籍ニアル者
ヲ結束スル所ノ此繫繩ヲシテ益鞏固ナラシムルハ自然相互ノ信
任ヲ厚カラシム可シ蓋信任ナル者ハ軍隊ノ戰捷ヲ得ル處ノ一ツノ

原素ニシテ此ノ原素ヨリシテ亦相互ニ尊敬ヲ生ス可シ蓋シ尊敬ナ
キハ眞ノ結合ヲ成立スルヲ得サルナリ

軍人友愛ノ交情ヲ保持セシニハ純良ナル遊技娛樂ヲ為スハ妨ケナ
シト雖モ野鄙陋劣ナル戲謔ヲナス勿レ是等ハ往々粗忽暴慢ノ性ヲ
馴致シ動モスレハ爭鬪ノ門ヲ開ケ者ナレハナリ

故ニ兵卒ハ相尊敬スヘシ假令習慣ヲ異ニセル者ト雖モ之レヲ嘲弄
シ若クハ譏笑スルヲ莫カレ

軍人相互ノ親愛及友愛ナル者ハ如何ナル人ニ對スルモ恰モ親友ニ對
スルカ如ク親疎ノ別ナキヤ

軍人ヲ結束スル絆索即チ軍人相互ノ親愛ナル者ハ其年齢及階級ノ
等差ニ從リ自ラ厚薄ノ別アル者ナリ故ニ其親睦モ亦同一ナルヲ得
サルナリ

軍人相互ノ友愛ニ於テモ亦然リ何ントナレハ信愛ナル者ハ先親近ニ始マリ遠疎ニ普及スル者ナルカ故ニ未タ其人ノ德義性能ヲ詳悉スルヲ能ハサレハ自ラ親睦ノ厚キヲ得サルナリ然ラハ則兵卒タル者ハ先ツ其僚友ニ對シテハ一般ニ友愛ヲ盡ス可キモ尚其親睦殊ニ切ナル者ハ真ノ懇親ナル僚友ニ友ス可キナリ兵卒ハ如何ナル者ヲ撰シテ已レノ親友トナスヘキヤ兵卒ノ益友トシテ撰擢スヘキ者ハ天性質直品行方正ニシテ能ク其任務ヲ盡シ軍紀ヲ奉スルノ人タル可シ若シ從順ナラサル兵卒ト交際スルハ已レモ亦之ニ倣フテ剛愎ノ人トナラン若シ遊治放蕩ノ兵卒ト交際スルハ已レモ亦任務ヲ怠リ常ニ責罰ヲ受クルノ身トナラン兵卒智識才藝アルモ勤勉耐久力行止マサルニ非スンハ軍隊ニ益ナシ友ヲ擇ブ夫レ慎マサル可ケン

ヤ

良兵卒タル者軍紀ニ乖キ品行正シカラサル者ト交際スルヲ要セストセハ軍人相互ノ友愛ノ關係モ全ク之レト絶ツヘキヤ

否軍人相互ノ信愛ノ情ハ軍人一般ニ普及セシメサル可ラス即チ若シ不良ノ兵卒アルモ須ラク良兵卒タル者ヲシテ自ラ其模範ヲ示シ善ヲ責メ過ヲ改メ良心ニ復セシムルヲ要スル者ナレハナリ

第二 人民ト兵卒トノ關係

人民ニ對スル兵卒ノ任務トハ何ソ

兵卒人民ニ對シテハ謹慎且持重ヲ要ス即チ共ニ政談ヲ為ス勿レ武威ヲ濫用スルヲ勿レ兵器ヲ弄スル勿レ是兵卒ハ正當防禦ニ出ツルカ或ハ之レヲ使用スヘキ公權ヲ有スル者ノ命令アルニ非ラサレハ決シテ使用ス可キ者ニアラサレハナリ而シテ兵卒ハ又何人ニ限ラ

ス丁寧ニ待遇シ老人婦女及官吏ニ對シテハ殊ニ注意セサル可カラ
ス其他兵卒ハ人民ノ危難ヲ見テハ之ヲ救ヒ之ヲ援ケ時機ニヨリテ
ハ已レカ生命ヲ犠牲ニ供シテ顧ミサルコトアル可シ

人民ニ對シ軍事上慎重ヲ保ツトハ如何ナル事ツ

慎重トハ凡軍人タル者ノ屯所若クハ衛兵隊及演習等ニ於テ生スル
細大ノ事件ハ濫リニ之ヲ外人ニ流傳セサルコト至難ノ任務ヲ帶フト
雖モ人民ニ向テ其不平ヲ洩サ、ルコト我カ聯隊ノ名譽ヲ潰シ及威嚴
ヲ存スルコトニ涉ルコトハ慎テ口外セサルコト是ナリ若シ之ニ背ク者ハ
即軍隊ノ罪人ナリ

第四章 名譽

第一 軍事名譽

名譽トハ何ソ

名譽トハ我良心ヲ満足セシメ尚他人ノ推重ヲ得ントスル所ノ感覺
ナリ

佛將伯論^{ゴッ}曰名譽ナル者ハ偉業ヲ為スノ機軸トナリ軍人生活ノ
精神トナリ及我カ聲價ヲ揚ケントスルノ熱心トナリ人ヲシテ恐怖
ナク怨嗟ナク虚飾ヲ避ケ卑劣ヲ惡ミ以テ已レカ任務ヲ盡サントス
ルノ念慮ヲ生セシムル者ナリ

軍事名譽ナル者ハ特ニ何ニ因テ生スルヤ

要スルニ已レカ任務ヲ盡スノミナラス尚更ニ黽勉止マサルニ依リ
テ生スル者ナリ即チ勉勵廉潔誠實忠厚勇敢寛仁ノ六事ヲ体シ尚國
ヲ愛シ軍旗ヲ護リ萬般ノ規律ヲ遵守スルコトハ軍事名譽其中ニ在リ
ト謂フ可シ

名譽ハ常ニ己ノ指導者ト為スコキヤ

名譽ハ常ニ兵卒ノ為メ最良ナル指導者ナリ若シ名譽ト已レノ利益ト互ニ相反對スル場合アラハ即其名譽ヲ撰フヲ以テ軍人ノ任務トス可シ而シテ之レヲ撰フニ決シテ猶豫ルコトナク名譽ノ道路ニ由リテ直進ス可シ然ル中ノヲ稱シテ良兵卒ト云フ
戰時ニ於テハ軍事名譽ノ感覺ヨリモ寧ロ功名心ヲ誘發セシムルヲ以テ良トセサルカ

功名心ナル者ハ專ラ已レノ利益ト欲望ヨリ生スル者ニシテ徒ニ外觀ヲ修飾シ其實ハ名利ノ為メニ常ニ心事ヲ左右セラル、故ニ其為ス所一時ニ止リ之レヲ永久ニ持續スルコト能ハサル者ナリ之レニ反シテ軍事名譽ハ眞ニ良心ヨリ發シ最艱強高尚シテ不動不滅ノ義氣ヲ存スル者ナル故ニ名譽心ヲシテ普ク軍人ニ有セシムル中ハ軍隊始メテ強勢ナル威力ヲ生スルコトヲ得ヘシ

將官伯論^ロ堙^ト見^ル曰ク功名ヲ愛スル者ハ世人之ヲ風説シ之ヲ賞賛スルヲ待ツ名譽ヲ愛スル者ハ良心黙識ノ讚美ヲ以テ満足ス即功名者ノ所為ハ人ノ賞賛ヲ得ンカ為メナリ名譽者ノ所為ハ自ラ満足センカ為メナリト

兵卒ヲシテ一般ニ名譽心ヲ發達セシムルハ如何ナル方法ヲ以テスルヤ
名譽心ハ元ト人ノ良心ヨリ生スル者ナルカ故ニ特殊ノ教育ヲ藉ラサルモ尚自然ニ人ノ心裡ニ發生スル者ナリ故ニ久シク軍隊ニ在ル者及上級ニ在ル者ハ名譽心ノ尚ホ未タ幼稚ナル新兵ニ向ツテ鼓舞作興シ漸次之ヲ啓發セシムルヲ以テ義務トス可シ其方法ニ至ツテハ他ナシ唯己ノ志尚ヲ高尚ニシ至誠ヲ以テ已レカ任務ヲ盡サシムルハ容易ニ其功ヲ収ム可シ

夫レ兵卒ノ軍隊ニ於ケル猶機關ノ傳動桿ニ於ケルカ如シ機關傳動桿ヲ欠ク中ハ動止ノ柄ヲ執ルヘ能ハス軍隊名譽心ナケレハ其強盛ヲ致ス可カラス故ニ隊長タル者此高尚ナルカヲ借リテ以テ之ヲ利用シ以テ其義務ヲ盡サシムルヲ要ス決シテ兵卒ヲシテ懲戒法ニ頼リ其義務ヲ盡サシムル勿レ

例令ハ千八百七十年佛普戰爭ノ中醉狂者ヲシテ跡ヲ軍中ニ絶タシメント欲シ布令ヲ發シテ曰ク「醉狂スル者ハ戰鬥中八日間前衛或ハ前哨中ニ在テ勤務ニ服ス可シト又千八百九年奈破翁ノ告諭ニ曰ク「醉狂者ハ總テ其姓名ト失行トヲ聯隊命令ニ出シテ勤務ニ服セシメ再ヒ同罪ヲ犯スニ至テハ聯隊長ヨリ指示セラレタル間ハ戰鬥ニ與カルノ名譽ヲ有スル能ハスト」

此二個ノ法令中ニ於テハ第二ノ法ヲ以テ良法トス蓋第一法ヲ取ル

中ハ危難ヲ冒スハ乃チ懲戒ナリトノ念慮ヲ抱カシメ第二法ヲ取ル中ハ危難ヲ冒スヲ以テ名譽ナリト思ハシム即チ甲ハ人ヲシテ卑怯ナラシメ乙ハ人ヲシテ勇敢ナラシムルニ至ル可シ

名譽ハ軍人ノ最モ重シス可キ者ナリ然ラハ則チ之ヲ毀損セラレタル中ハ寧口死ス可キヤ

名譽ハ固ヨリ死ヲ以テ護ラサル可カラス即チ名譽ハ常ニ其聲價ヲ高尚ナラシメ之レカ為メ其生命ヲ犠牲ニスルノ覺悟ナカル可カラス之ヲ歴史ニ徵スルニ戰場ニ於テ降伏スルヨリモ寧口其軀ヲ殺シタル者ヲ以テ勇敢トナセリ

朋友間名譽ノ得失ニ関シテハ之ヲ處スル法如何

兵卒ハ朋友間ノ名譽ニ関シテ亦深ク注意セサル可ラス設シ人此感動シ易キ名譽ヲ損害スル中ハ相互ノ間ニ爭鬪ヲ生シ為メニ法律ノ

罪人トナル者往々之レ是レアリ然リ唯罪人タルニ止マラス憤怒ノ情ニ堪ヘス貴重ノ性命ヲモ顧ミス飽マテ其耻辱ヲ雪カントシテ竟ニ國家防禦ノ衝ニ當ル軍隊一人ノ生命ヲ無益ニ失フノ虞ナキ能ハサレハナリ

第二 廉潔及誠實

名譽ヲ保全シ永ク失墜セサラント欲セハ何ヲカ最精密ニ注意ス可キヤ

廉潔及誠實是レナリ

夫レ智勇絶倫ノ人ト雖モ若シ廉潔ナラス又誠實ナラサルキハ未タ以テ名譽ノ人ト稱ス可カラズ蓋廉潔ニシテ行為誠實ナルハ我日本

人ノ自然具備スル所ノ性質ナルハ世人ノ已ニ認識スル所ナリ
廉潔ナラサル兵卒トハ如何ナル者ソ

他人ノ財物ヲ私シ若シクハ賄賂ヲ受ケ殊ニ時戰家會果物及其他ノ物ヲ掠ムル如キ者ヲ云フナリ抑軍隊ナル者ハ名譽ノ人ヲ以テ編製シ盜賊及掠奪者ヲ以テ編製スル者ニアラサルナリ又償フテ能ハサルヲ知リテ過分ノ負債ヲ為ス者父母ヲ欺テ金錢ヲ騙取スル者敵ノ負傷者及囚虜ヨリ財物ヲ奪略スル者ノ如キ是レナリ斯ノ如キ兵卒ハ素ト軍服ヲ着セシムルノ價直ナキノミナラス軍法會議ニ引致セラレテ相當ノ罰料ニ處セラレハキ者ナリ

戰場ニ於テハ他人ノ財物ヲ掠奪スルノ權ヲ兵卒ニ附與スルノ場合ナキヤ

名譽操節ヲ重シ道義ヲ以テ自ラ任スル者掠奪ヲ以テ耻辱トナサハル者アラシヤ

其世期ノ頃ニ於テハ兵卒ノ勇氣ヲ鼓舞スル為メ敵國ノ都府ヲ攻圍

スル中其都府ニ於テ掠奪ヲ許スノ權ヲ將官ニ附與シタルアリシ
モ今日ニ至ツテハ何等ノ時ト雖モ掠奪ハ公法ノ堅ク禁止スル所ト
ナレリ

誠實トハ如何ナル者ヲ云フヤ

誠實トハ言行一致常ニ約束ヲ重シ誓盟ニ背カス及談話ヲ空フセ
サル處ノ性質ナリ

兵卒ハ殊ニ此性質ヲ重セサル可カラス縱ハ一旦之ニ背クモ之ヲ改
ムルニ吝ナラサルハ是レ其過ヲ贖フノ最良方便ナリ況ンヤ惠心
悔悟ノ証跡顯然タルニ於テフヤ

兵卒ノ行為誠實ナラサルハ乃チ名譽ノ存セサル軍隊ト云フ可キ
ナリ何トナレハ名譽ナル者ハ虚誕妄言無實偽誓ノ社會ニ存セサル
者ナレハナリ

第五章 忠厚及克己

忠厚トハ何ソ

忠厚トハ自ラ信スル學フシテ人ノ為ニ謀ルチ忠實ナルヲ云フ即チ
己ヲ推シテ人ニ施シ難ニ趣キ躬ヲ殺シテ仁ヲ為スノ氣節アルヲ云
フナリ

此貴重ス可キ氣節ハ專ラ愛國心慈惠心共愛心名譽心及任務上ヨリ
生スル者ニシテ尊フヘク嘉スヘキノ精神ナリ故ニ普通ノ人民ニ於
ケルヨリモ之ヲ軍人ノ胸裡ニ浸潤セシムルチ殊ニ緊要ナリトス
兵卒タル者誰レカ為メニ忠厚ヲ要スルカ

兵卒ハ時機ニ從ヒ自國ノ為メ名譽ノ為メ己レカ軍隊ノ為メ隊長ノ
為メ朋友ノ為メ及一般人民ノ為メ己レヲ捨テ難ニ殉フノ精神ヲ表
彰セサル可カラス

亦上官タル者モ其部下ノ為メ之ヲ救済スルニ於テ躊躇ス可カラス
苟モ身日本軍隊ノ軍服ヲ着スル者ハ平時戰時ノ別ナク豪俠能ク軍
旗ノ名譽ヲ保護シ且同用ヲ救済センカ為メニハ其生命ヲ捨テ、顧
ミサルノ決意ナカル可カラス已ニ軍人一般此ノ心ヲ存スルモハ始
メテ軍隊ノ強盛ナルヲ得ヘシ
克己トハ如何ナル者ソ

克己トハ己レヲ空フノ忠厚節義ヲ致スノ精神ナルカ故ニ私欲名利
ト反對スルノ性質ト稱スルヲ得ヘシ而シテ克己ナル者ハ豪邁ナル
事業ニ依リテ顯ハルヘキ者ナレモ亦簡單ナル行為ニヨルモ之ヲ顯
ハスコトヲ得然レモ是レヲ行ヒ之ヲ為スニ最困難ナル者ナリ何トナ
レハ軍人タル者ハ殆ント毎日克己ノ攀動ヲ要スル者ナレモ之ヲ外
形ニ顯ハスハ甚稀ナルノミナラス其報酬トシテ得ル所ノ者ハ誰レ

カ良心ヲ満足セシムルノミナレハナリ

第六章 勇敢

第一 勇敢果敢沈毅

勇敢トハ何ソ

勇敢トハ己レカ任務ヲ全フスル為メ何等ノ事變ニ遭フモ敢テ恐怖
ノ念ナク進シテ苦楚ヲ嘗メ困難ヲ辞モス又其生命ヲモ捨テ、顧ミ
サル所ノ豪毅ナル精神ヲ謂フ

軍事上ヨリ論スルモハ勇敢ナルモノ唯死ヲ惜マサルヲ以テ足レリ
トセサルナリ乃チ困難ナル行軍極メテ疲勞ノ運動飲食及睡眠ノ不
足季候ノ不順軍紀ノ嚴肅等最困難ナル境遇ニ在リテ之ヲ意トセサ
ルノミナラス却テ之ニ當ラントスル所ノ精神ヲ要スルナリ

勇敢ハ人ノ天稟ニシテ自然ニ發生スルモノナルヤ

戰場ニ於テハ勇敢ノ行為ヲ自然ニ顯ハズトテ得ル者アリ然レモ常ニ其任務ヲ盡ス為メ進退宜シキヲ制スル勇敢ニ至テハ教育ノ効ヲ積ムニアラサレハ能ハサル可シ世談ニ曰ク修業ヲ積ミ勞苦ヲ經ルニアラサレハ人實ニ其聲價ヲ有セスト
兵卒ノ中ニモ天性勇武危難ヲ恐レサル者アリ然レモ亦軍事上普通ノ場合ニ於テ勇氣ヲ欠クトアリ是レ則教育ノ乏シキカ故ナリ若シ教育ノ力ヲ以テ其勇氣ヲ鼓舞作興スル中ハ常ニ堅固ニシテ戰場ニ在ルモ恰モ屯營内ニ在ルカ如ク沈着シテ諸般ノ危難ニ抵抗スルヲ得ヘキナリ

勇敢ノ中ニ教種ノ變化アラサルヤ

訓練ノ程度ニヨリ教育ノ法ニ從ヒ人々自然ノ天性ニヨリ勇敢ノ發シテ外ニ顯ハル、者其形狀自ラ同シカラス隨テ又其名稱ヲ異ニス

則チ果敢及沈毅是ナリ

果敢トハ事ヲ為スニ當リ障碍ヲ排シ危難ヲ辭セス死尚顧ミスシテ其目的ニ向ヒ直進スル所ノ勇猛ナル決意ナリ

沈毅トハ百難ノ中ニ立テ其精神ヲ沈着シ敢テ輕舉暴動スルトナク而シテ其目的ヲ達スル為メ用ユ可キ方法ヲ撰フニ當リテハ毫モ遲疑スルトナク困難ヲ排シテ屈撓セサル所ノ堅固ナル性質ナリ
例令ハ敵ニ向テ行進スルニ當リ之ヲ指揮スル隊長ニ要スル者ハ沈毅ナリ而シテ其射撃ヲ施行セル兵卒ノ為メニハ果敢ナルヲ要スルナリ

勇敢果敢及沈毅ノ三者ヲ具備スル者アラハ之レヲ豪傑ト云フヘキヤ然リ之ヲ豪傑ト云フ豪傑ノ企圖スル所之ヲ雄圖ト云フ雄圖ノ成績ヲ稱シテ偉業ト云フ

勇敢ニ反對スル行為ハ何ント稱スルヤ

是卑怯ナリ卑怯ハ軍人ニ於テ最忌ムヘク嫌フヘキ所ノ者ナリ蓋卑怯ノ行為ハ事物ニ恐怖シ或ハ自衛心ノ切ナルニヨリテ生スル者ナリ兵卒勉メテ卑怯心ヲ抑制スルニアラスハ戰ニ臨テ軍隊ヲ脱カル、者アルニ至ラン故ニ軍隊ニ在テ卑怯ナル語ヲ聞クキハ赤面シテ其耻辱ニ忍ビサル者ノ如ク常ニ教化スルヲ要ス

第二 慈愛

兵卒戰爭中ニ在テハ唯勇武ノ氣象ヲ尚ヒ更ニ慈愛ノ情念ヲ要セサルカ
否慈愛ナル者ハ勇武ノ氣象ト密接ノ關係ヲ有シ二者相俟テ始メテ眞勇ト稱ス可キ者ナリ故ニ戰闘中ハ其勇猛虎豹ノ如クナル可シト雖モ戰闘終ルノ後ハ寛厚ニシテ慈愛ナルヲ要ス即チ敵ノ負傷者若

クハ囚虜ヲ見テハ之ヲ勞シ之ヲ憫ミ決シテ是レニ戮辱ヲ加フ可カラス何トナレハ敵ト雖モ亦人ナリ人各其國ノ為メニ戰フ者ニシテ其心情寧ろ尊敬ス可キ者ナレハナリ誠ニ歴史ヲ緝キ軍人ノ事蹟ヲ見ヨ其寛厚慈愛ナル克服セシ敵兵侵略シタル國民ニ對シテ毫モ是レヲ殘害セス又之ヲ侮辱セス反テ之ヲ慰撫シ之ヲ愛恤スルヲ知ルナラン

戰闘間ト雖モ兵卒ハ慈愛心ヲ施スノ場合アルヤ

然リ萬國公法及良心ニ於テモ降服スル敵兵ハ之ヲ歐撻シ之ヲ傷害シ之ヲ殺死スルヲ禁スト即チ敵我ニ抵抗ヲ止メ生命ヲ強迫スルヲ止メタルキヨリ乃チ軍虜トナル者ナリ若シ反逆ヲ企ツルカ逃走ヲ試ムルニアラサレハ之ニ害ヲ加フ可カラス其囚虜ト為シタル者ハ唯武器ヲ解カシメ之レヲ監視シテ害ヲ為ス能ハサラシムルノミ若

シ其人戰鬪ノ危妻ニヨリ自由ヲ復シ武器ヲ取リテ戰フト雖其初
メニ誓約ヲナスニアラサレハ再ヒ敵對シタルノ故ヲ以テ之ヲ責メ
之ヲ罰スルヲ得サルナリ是レ敵ニ誓ヒタル信ヲ重ンスルノ例規タ
レハナリ故ニ歸降シタル敵兵或ハ防禦スルヲ能ハサルノ状態ニ陷
リタル敵兵ハ決シテ之ニ害ヲ加ヘサルヲ以テ必要ノ義務トス可シ
是ヲ以テ如何ナル場合ニ際スルモ恐赫ノ為メ復讐ノ為メ疾惡ノ為
メ預メ宣言シテ俘虜ヲ寛待セサルヘシト云フヲ得ス(萬國公法手録)

第三 感激

今此書ヲ終ラントスルニ當リ一言感激ノ事ヲ論シ以テ此書ノ大要ヲ
結ハントス抑感激ナル者ハ事ニ感シ物ニ激シ自ラ心カヲ致シテ終始
止ムト莫カラシムル所ノ者ナルカ故ニ個人或ハ軍隊ヲシテ此心ヲ養
成セシムルト緊要ナリトス

即チ感激ナル者ハ名譽心愛國心及勇敢忠厚克己ノ心ヨリ生スル感觸
ノ漸次熱度ヲ加ヘ遂ニ相激シテ以テ發スル所ノ光輝ニ於ケルカ如シ
此心ヲ以テ常ニ其胸裡ニ貯フル中ハ已レカ任務ヲ盡スニ容易ナルノ
ミナラス尚且其任務ヲ盡サントスルノ心ヲ生セシムル者ニシテ毫モ
已レニ苦痛ヲ感スルヲナク諸種ノ困難ニ抵抗スルヲ得ヘシ
撥亂反正ノ世邦國ノ運命危殆ナルノ時ニ當リ其國民タルモノ、光榮
トナル可キ豪邁ノ氣象ヲ振起スルモ亦此感激ノ因テ然ラシムル處ナ
リ
兵卒ノ心裡ニ此感激心ヲ生セシメ益之ヲ發達セシムル中ハ即勇猛果
敢ノ軍隊トナリ常ニ勝利ヲ博スルノ最良方法ナリ故ニ隊長タル者及
故參兵卒タル者ハ其部下及用兵ニ對シ之ヲ教化スルノ責任ヲ有スル
カ故ニ須ラク茲ニ其意ヲ致スヲ以テ最大ノ義務トスヘシ

此ノ感激ナル者ハ亦軍人ノ間ニ普及セシムル一最モ速迅ナルハキハ是レ自然ノ理ナリ何トナレハ軍人タル者ハ常ニ其任務ヲ盡サントスルノ精神ヲ有シ偉大ノ功業ヲナサント欲スルノ念慮瞬時モ止ム中ナケレハナリ

軍隊ノ間ニハ一日モ此感激ノ心ナカル可ラス嗚呼日本軍人タル者之ヲ心裡ニ存シテ忘ル、^一ナク今日我國ノ地位ヲ顧ミ未來ニ向ツテ須ク盡ス所ナカル可カラス

兵卒ノ徳義終

明治

二月十四日印刷

(非賣品)

同

年同月廿六日發行

印刷兼發行者

陸軍教導團

兵卒ノ徳義正誤

丁數	行	表裏	誤	正
一五	九	才	第一 推重	其一 推重
同	一	ウ	第二 信任	其二 信任
一七	二	才	第三 愛慕	其三 愛慕
同	一〇	ウ	兵卒自己ニ對スル任務	其四 兵卒自己ニ對スル任務
一八	六	才	第一 順序容儀清潔	其一 順序容儀清潔
二〇	一	才	第二 品行節度抑情	其二 品行節度抑情
二二	四	才	第三 健康勉勵自殺ノ禁止	其三 健康勉勵自殺ノ禁止
二三	一〇	才	其 他 軍人ニ對スル兵卒ノ任務ノ十五字ヲ行目ハ入ル	不善ヲ責メ
二六	六	才	善ヲ責メ	其二 人民ト兵卒トノ關係
同	七	才	第二 人民ト兵卒トノ關係	其二 人民ト兵卒トノ關係

